

○日本大学生物資源科学部 見学会の様子と生徒の感想



概要説明の様子



「骨の博物館」に向かう生徒たち

☆生徒から日本大学の方へのお礼と感想

1年 Y.Mさん

本日は講演と大学内の案内をして下さり、ありがとうございました。

私は、「農学」と聞いて牛や豚を育てる学問をイメージしていました。しかし、実際は様々な生物に関わることを研究できると知り、農学に興味が湧きました。日本大学湘南キャンパスには、全国で数少ない施設がたくさん備わっていると伺い、幅広く学ぶことができるのだなと思いました。今回の見学会では、博物館がとても印象的でした。実際の骨で作られた骨格標本が展示されていたり、状態を保つために湿度の管理をしていたりするなど、日本大学生物資源科学部ならではの設備だと感じました。

1年 K.Kさん

日本大学生物資源科学部に伺いまず感じたことは、キャンパスがとても広いということです。僕は大学に行ったことがなかったので、どのような施設があるのか全く分からず、とても新鮮な気持ちで見学をしました。骨の博物館では、僕の一番好きな動物であるサイの骨格を見ることができ、とても嬉しかったです。また、色々な種類の動物の剥製や、動物の赤ちゃんの液浸標本が展示してありました。今まで剥製を見る機会がなかった僕は、ワニの剥製を見たことが特に印象に残っています。

日本大学生物資源科学部を見学し、大学のことや研究のことなど多くのことを教えていただき、視点が広がったと感じています。貴重な時間をいただき、ありがとうございました。

1年 M.Yさん

今回の見学会で、大学はどういうところなのか、日本大学生物資源科学部ではどのような研究をしているのかを学びました。中でも特に印象に残っているのは、自主的な学びの中で社会と密接に関わっているということです。様々な社会問題の解決を目的として、生き物や薬、環境などの研究を行うなど、大学で学ぶということは社会に出るために学んでいるのだと知りました。このことから、私は文理選択をする上で、「何ができるか」ではなく、「将来何がしたいか」を大切にすることが重要だと思いました。

高校1年生である私たちに分かりやすく説明や案内をしていただき、ありがとうございました。今日の見学会を今後に活かせるように頑張りたいと思います。